

平成30年度厚生労働科学研究費補助金
(政策科学総合研究事業(臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業))
分担研究報告書

SS-MIXを応用したPINNACLEレジストリー構築に関する研究

研究分担者 安田 聡 国立循環器病研究センター・副院長・心臓血管内科部門長

研究要旨

電子カルテから SS-MIX(Standardized Structured Medical Information eXchange)を用いて臨床情報を半自動的に抽出するシステムの開発・応用する。

A. 研究目的

PINNACLE (Practice INNovation And Clinical Excellence) レジストリーでは冠動脈疾患、高血圧、心不全、心房細動といった主要な循環器疾患患者について、膨大な入院データが集積されている。

B. 研究方法

国立循環器病研究センターに入院した患者の電子カルテデータから、米国心血管病レジストリー (PINNACLE) と同項目の内容を SS-MIX を用いて半自動的に抽出し、診断名、重症度、併存疾患、QOL、薬物・非薬物治療の内容に関するデータを集積する。

(倫理面への配慮)

本研究では「ヘルシンキ宣言」に基づく倫理的原則および「臨床研究に関する倫理指針」を遵守する人を対象とする医学系研究に関する倫理指針を遵守し研究を遂行する。

C. 研究結果

国立循環器病研究センターに入院した患者の電子カルテデータから、米国心血管病レジストリー (PINNACLE) と同項目の内容を SS-MIX を用いて半自動的に抽出し、診断名、重症度、併存疾患、QOL、薬物・非薬物治療の内容に関するデータを集積するシステムを整備した。

D. 考察

電子カルテから SS-MIX を用いて臨床情報を半自動的に抽出するシステムを開発・応用することで、データ集積時の人的負担を軽減するとともに、今後、全国の医療施設に研究対象を広げることができる点は大きな特色であると考えられる。

E. 結論

将来的には、本システムを全国の医療機関で用いることで、本邦における循環器診療の実態を明らかにし、医療の質と費用対効果を検討することが可能になることが期待される。

G. 研究発表

1. 論文発表

Yasuda S, Miyamoto Y, Ogawa H. Current Status of Cardiovascular Medicine in the Aging Society of Japan. Circulation. 2018

Sep 4;138(10):965-967.

2. 学会発表 なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得 なし

2. 実用新案登録 なし

3. その他 なし